

神戸の山手で過ごす人生の収穫期

グランドビュー甲南

古くから人々の憧れの地である神戸の山の手。
豊かな自然を楽しみながらも、都会の便利さも享受できるこの地は、
まさに実り多き人生の締めくくりにふさわしい。

Photo Masumi Mizuno Text Yoko Shano



（左上）明るい日差しが注ぐ、マンションタイプの居室。バリアフリーはもちろん、センサーや呼び出しコールなど安全安心の設備が整っている。（左下）専属栄養士によるメニューをレストランに負けない味わいとビジュアルで提供。予算に応じた特別メニューや家族、友人との会食も可能。（右上）昼間は青い海、夜は光の海が堪能できる屋上庭園。自然の移り変わりを感じながら心身を解放するひとときを。（右下）大浴場「ととや乃湯」では神経痛や冷え性などに効く天然温泉が楽しめる。温泉旅館のような雰囲気気分を高めてくれる。

自分らしい人生を全うしたいー
——誰もが願うことではあるが、中でもライフステージを華やかに彩ってきたエグゼクティブにとっては決して譲れない部分であろう。そんな思いを具現化したのが、グランドビュー甲南である。

関西圏に住む人々にとっては永遠の憧れの地、神戸市東灘区。六甲山を背に神戸の街並みと明石海峡を見下ろす山手に立つ建物は、オレンジの瓦屋根と白壁が南欧をイメージさせる。天然温泉の大浴場やさまざまな器具がそろったトレーニングルーム、大画面と高音質で映画やカラオケが楽しめる視聴見室など、一流ホテルクラスの設備を誇る。しかし、特に強調しておきたいのは、そのホスピタリティーである。

運営母体の神戸福祉会は1951年の創設以来、60年にわたって社会福祉法人としての信頼と実績を重ねてきた。一人ひとりの尊厳を最大限に尊重するという理念に基づいて形づくられてきたホスピタリティーが集約され、満を持して誕生したのがグランドビュー甲南なのである。日本における高齢者福祉の最も理想的な形の一つが、ここにあるといっても過言ではない。

「入居されている方、全てがVIPなのです」と語る総合施設長の大和田順氏。「ライフスタイルがしっかりと確立された方ばかり。多様なご要望にいかにお応えしていくか。私たちの力量としたいが問われるところですが、同時にやりがいのあるところだ。社会福祉士としてのキャリアも

長い大和田氏だが、入居者から教わることも多いと話す。

「地元の岡本や芦屋、神戸に気軽に掛け、コースやアッサンなどのクラブで趣味を楽しみ、友人と交流されています。流行りの美容院やおいしいパン屋などの情報もいち早くキャッチされ、おしゃやグルメを楽しんでおられます。人生の楽しみ方や年齢を重ねることの豊かさを教えていただいていますね」

自宅をそのままにいつ、日常生活をグランドビュー甲南でという人も少なくない。掃除や食事の準備に煩わされることなく、生活を楽しんでいただけます。海外旅行が好きな方にも、留守の間を心配しなくていい、と喜んでいただいています。同じく社会福祉士の資格を持つサビエラ管理課長の乾加奈氏は、「絆を何より大切にしています」と話す。

「信頼関係があればこそ、困った時にも声を掛けていただけます。私たち自身もちょっとした変調を敏感にキャッチし、早期早めの対応をさせていたきたい。できるだけ長く健康に人生を楽しんでいただくために、信頼関係という絆を普段から心掛けています」

施設内に診療所と常勤の医師を備えているのも強みの一つ。専門スタッフと共に日々のトレーニングでリフレッシュしながら、いざという時には福祉と医療の専門家によるケアを受けられる。ホスピタリティースピリッツあふれるグランドビュー甲南で、人生の収穫期を楽しむという選択肢はいかがだろうか。

遮るものが何もない空。温暖な日差しを十分に味わえる。居室はスタッフの目が十分に行き届く全53室。十分なスペースを確保した共有部分がゆとりを生んでいる。